

習志野市役所新庁舎の行政視察を実施しました

八千代市の大きな課題の1つである庁舎整備事業の参考とするため、平成29年4月30日に竣工したばかりの習志野市役所新庁舎の視察を8月18日に実施し、17名の議員が参加しました。



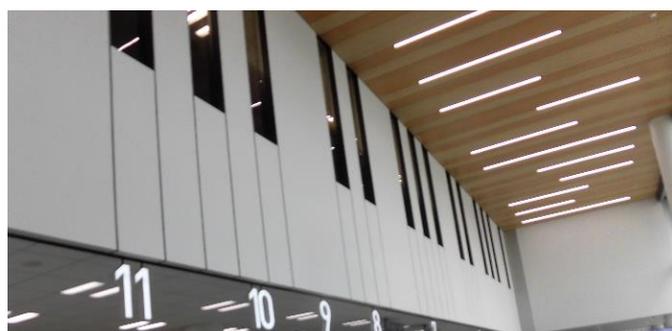
▲ 習志野市役所新庁舎外観



▲ グランドフロア階の市民協働スペース



▲ グランドフロア階と1階を結ぶ大階段



▲ 市民ロビーの壁面はピアノ鍵盤をモチーフとしています。

習志野市役所の新庁舎は、低層階に住民異動、社会保険、税、福祉等の主要な窓口部門が集約され、利便性と効率性に配慮されたフロア配置となっているほか、様々な自然エネルギーの活用や、省エネルギー計画により、人や環境にやさしい庁舎となっています。

また、不特定多数の方が利用する公共施設に相応しいバリアフリーに配慮した施設計画、動線、サイン計画等としており、高齢者や子ども、障がい者を含め、施設を利用するすべて人に分かりやすく、使いやすい施設となっております。

市庁舎の重要施設である議場は、展望回廊から気軽に見ることができ、「開かれた議場」としています。また、旧庁舎議場に利用されていた木の色味を踏襲し、市章をモチーフとした壁面、天井デザインや、旧庁舎の市章の再利用等、習志野の伝統と象徴を表した議場となっております。当日は、新規導入した採決システム等について説明を受けました。

▼ 議場の展望回廊



▲ 議場にて採決システムの説明を受ける様子。



▲ 議場の壁面に映写機で映像を流している様子。
議場の壁面は大型のスクリーンとして活用できるようになっています。